

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年3月29日

事業所名 放課後等デイサービスくくろームよこて

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|--|--|------|--|--|--|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 100% | 0% | 車椅子利用のお子様や歩行が不安定なお子様、移動手段が様々な児童の利用が大半なので、できるだけ広く活動できるように家具等の配置を工夫しています。 | お子様の身体状況に合わせた椅子や自助具など、安全性に配慮した設備を充実させます。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 100% | 0% | ご利用のお子様のに人数だけでなく、お子様の障がいや活動の状況に合わせて配置しています。特に飲食時にはお子さんに応じた安全な介助を心がけていますので、一対一の対応をしています。 | 利用のお子様的人数によっては、職員数の確保が困難なことがあります。地域の皆様への理解を進め、職員への専門的な研修を実施するなどして、十分な職員の確保ができるように行きます。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 100% | 0% | 部屋の仕切りを取り払い、利用児童が活動しやすいように段差のない床にしています。玄関や入口にはスロープを設置して移動しやすいように工夫しています。 | スロープや雨除けの可動式庇を新調し、改善しました。また強度の確認など安全には十分な点検を行っています。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 100% | 0% | 定期的に支援会議を実施し、職員全員で話し、意見を出し合っています。様々な意見を共有することで、目標設定や振り返りを細かく検討することができています。 | 職員同士が同じレベルで情報を共有できるように専門的な研修を行っていきます。 |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 100% | 0% | | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 100% | 0% | 事業所の会報やホームページには必ず結果を公表しています。 | すべてのご利用の保護者様に結果を見ていただけるように、丁寧に声掛けや案内をしていきます。 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 33% | 67% | | 今後は実施していきます。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 100% | 0% | 年間を通して本部と連携し、研修委員が中心となって研修を開催している。研修内容は基本的なテーマを設定して年間計画を立てて実施しています。できるだけ全職員に参加を促し、研修後にはレポートを提出しています。 | 業務中の職員は参加できないことがありましたので、研修の実施日を改善していきます。 |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 100% | 0% | 職員の意見を参考にお子様のアセスメントを丁寧に行い、保護者様と情報を共有できるように、日々の状況を記録しています。 | いつでも職員が記録を見たり、最近の状況が共有できるように、申し送り等の充実を図っていきます。 |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 100% | 0% | 定期的に標準化されたアセスメントツールに沿って子どもの最新の状況を把握し、支援計画や課題の作成に生かしています。 | 支援スタッフへは子どもの状況の変化や個別課題について細かく周知していきます。 |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 100% | 0% | 主に支援会議の中で、お子様一人ひとりの発達状況をもとに具体的な活動プログラムを作成しています。 | 今後も継続していきます。 |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 100% | 0% | 一人ひとりの発達状況に合わせて活動内容を考えています。 | 今後はもう少し活動プログラムを広げられるよう工夫していきます。 |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 67% | 33% | | できるだけ児童の状態に沿った活動内容や課題を設定して、丁寧な支援を実施して行きます。 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 100% | 0% | 個別活動が必要なお子様に対しては時間を設定し、スタッフを配置するなどしています。また集団での活動にはテーマを決めた課題に沿って、それぞれが参加できるように企画しています。 | 今後も継続して実施していきます。 |
| 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 100% | 0% | 利用児童のその日の状況や保護者様からの申し送りなどを職員全員で周知して、その日の活動プログラムの進め方などを確認しています。 | 今後も継続して十分な情報共有を行っていきます。 | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--------------|----|---|------|-----|---|---|
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 100% | 0% | ・終礼等を行えない日がありますが情報共有には努めています。 ・気になったことは会議等で話し合うようにしています。 | 今後も丁寧で細かな情報伝達を行っていきます。 |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 100% | 0% | 記録の確認や活動内容の検討なども合わせて行うことで、次回の支援につなげています。 | 今後も継続していきます。 |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 100% | 0% | 規定にとらわれず定期的なモニタリング以外にも必要に応じてサービス計画の見直しを行っています。 | 今後も引きつづき行っていきます。 |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている | 100% | 0% | | 今後も継続していきます。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 100% | 0% | 児童発達支援管理責任者が出席し、専門的な見地で参画しています。 | 今後も継続し、より専門性の高い支援を行っていきます。 |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | 100% | 0% | 特別支援学校の駐車場内に予定表の配布のコーナーが設置されているので、常に気かけられるようにしています。併せて、学校のホームページや安心メールなどを確認し、情報を得ています。 | 今後も学校との連絡調整を密に行っていきます。 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | | | | |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | 100% | 0% | ・サポートブックを制作していただいているので、情報共有ができています。 ・直接的には行っていないが、保護者様を通じて(サポートブック等)情報共有しています。 | 今後も実施していきます。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | 100% | 0% | ・同法人の運営する生活介護事業所では、放課後等デイサービス関わったスタッフが支援に加わるなどしています。 ・今年度は卒業者がなく情報共有等はなかったが、必要であればこれまで行ってきた。 | 今後も丁寧な情報共有を行っていきます。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 33% | 67% | | 今後はできるだけ参加できるように研修実施計画の改善を進めていきます。 |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | 33% | 67% | ・コロナ禍で交流がまだまだできない中、散歩などを通し地域の方々と面識をつくっています。 ・コロナ感染者数が減った頃、地域の行事に参加して関わる機会が持てました。 | 感染防止に気を付けて地域交流を活性化させていきます。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | 33% | 67% | | 今後は検討していきます。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 100% | 0% | ・連絡帳でのやりとりや送迎時に保護者様との会話の時間をできるかぎり取るようにしています。 ・連絡帳や送迎時にお伝えしています。 | 今後も丁寧な情報共有を行っていきます。 |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている | 67% | 33% | | ペアレントトレーニングについては、専門的な理解やアプローチが必要なので、まずは研修を受けてたいと思います。 |
| | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 100% | 0% | 契約時や変更時には丁寧に説明をしています。 | 質問や規定などの疑問点にもお答えできるように今後も実施していきます。 |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 100% | 0% | 個別に時間をとったり、お電話や連絡帳などでの助言を行っています。必要に応じて対応する体制は整えています。 | 今後も継続して実施し、丁寧な支援を行っていきます。 |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|------------|---------|--|---|------|--|---|
| 保護者への説明責任等 | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 33% | 67% | | 今後は感染防止に気を付けて実施していきます。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 100% | 0% | 日ごろから丁寧に対応しています。細やかな対応によって安心して利用できるように心がけています。 | 今後も苦情等が出ないように対応していきます。また細かな苦情やご意見も見過ごさず、丁寧で迅速な対応を行っていきます。 |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 100% | 0% | 定期的な会報誌の発行を行い、様々な情報や福祉の情勢などをお知らせしています。また、ブログやTwitterで活動の様子をお伝えしています。 | 今後も、より分かりやすい身近な内容をご利用者全員にお伝えできるようにしていきます。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | 100% | 0% | 個人情報については決して外部に漏れることがないように細心の注意を払っています。 | 今後もさらに十分に注意していきます。 |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 100% | 0% | 支援内容や課題にコミュニケーションの手段や具体的な方法を考慮し、お子様一人ひとりに合った意思疎通ができるようにしています。 | 今後も継続していきます。 |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 33% | 67% | | 感染防止に気を付けて行事を計画し、今後は開かれた事業所として地域にアピールしていきます。 |
| | 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 100% | 0% | ・マニュアルを作成し、研修を行うなどして、職員の対応・理解を深めています。 |
| 39 | | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 100% | 0% | 地震や火災等を想定して、年2回行っている。 | 今後も状況を確認しながら、様々な場面を想定しての訓練を実施していきます。 |
| 40 | | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 100% | 0% | 研修は定期的に行い、職員の意識向上に努めています。 | 今後も継続していきます。 |
| 41 | | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 67% | 33% | | ・危険回避などの状況を想定して理解しやすいように具体的な内容を記載し、確認しながら了解を得ていきます。 ・研修を毎年実施します。 |
| 42 | | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 67% | 33% | | 今後ご利用者様にアレルギー等のある場合には、保護者様を通じて医師の指示を受けていきます。 |
| 43 | | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 100% | 0% | 小さなことでも、ヒヤリハット事例については報告書を作成し、常時スタッフが確認できるようにしています。 | 今後も継続して実施し、丁寧な支援を行っていきます。 |

※無回答は「いいえ」として、カウントしております